

がん遺伝子パネル検査適応チェックリスト

●組織、血液いずれの検体によるがん遺伝子パネル検査をご希望かチェックしてください。

- ・ 組織を用いたがん遺伝子パネル検査を行うにはおおむね 3年以内に採取され、適切に処理されたホルマリン固定のがん組織病理標本が必要です。詳しくは「がんゲノム医療外来紹介受診をご検討の先生方へ」の「●がん遺伝子パネル検査のための検体の取扱い」の項をご参照ください。
- ・ 現在適切ながん組織がなく、新たに採取することもできない場合に限り、血液検体を用いたがん遺伝子パネル検査が保険承認されています。

いずれの検査をご希望かチェックしてください。

- 組織検体を用いた検査を希望 血液検定を用いた検査を希望

●受診にあたっては以下の点を必ずご確認ください。患者様との情報共有もお願いします。

- ・ 体力が残っている お元気な方が検査の対象です。(Performance Status 0,1)
- ・ できるだけご家族同伴のうえ、患者様ご本人の受診をお願いします。※ご家族のみの受診は不可です。
- ・ 治癒切除不能または再発病変を有する「原発不明がん等標準治療のない固形がん」または「標準治療終了ないし終了見込みの固形がん」の方が対象です。
- ・ 紹介元含め、他院で入院中の場合、受診できません。
- ・ 過去に一度でもがん遺伝子パネル検査を受けている場合、受診できません。
- ・ 3割負担の場合、申込み時に約 132,000 円、結果説明時に約 36,000 円の検査費用がかかりますが、高額療養費制度をご利用できる場合があります。
- ・ 検査申し込み後に検体の質が不良のため解析ができないことが判明する場合があります。なお、検査が中止となった場合、再検査や血液検査への変更は可能ですが、原則、返金はできません。
- ・ 検査結果を京都大学医学部附属病院と合同で行う専門家会議(エキスパートパネル)で検討する際詳細な病歴のプレゼンテーションが必要となりますので 別紙 1 診療情報提供書および 別紙 3 がん遺伝子パネル検査臨床情報提供書に詳細な病歴記載をお願いします。発症時期、初発症状、検査歴、手術歴、特に詳しい抗がん剤治療歴(レジメンと治療効果)の記載をお願いします。
- ・ CT 等病状が把握できる 直近の電子画像と読影レポートコピーの提出をお願いします。
- ・ 検査結果がでるまで約 2ヶ月かかります。
- ・ 検査後の治療に関してはあらためてのご相談となりますが、保険内での診療、治験参加や自由診療のご提案ができる可能性があります。ただし、自由診療の場合、治療費が高額となります。
- ・ それらの 治療につながる方は約 1割程度で、結果に従い治療しても効果が出るとは限りません。
- ・ 遺伝性腫瘍(生まれつきがんになりやすい体質を受け継いでおり子や孫に遺伝する可能性のある腫瘍)が見つかることがあります。
- ・ 検査後、がん遺伝子パネル 検査に基づく治療以外の診療は紹介元でお願いします。
- ・ 後日、生存確認やその後の治療状況を問い合わせさせていただく予定です。

以上の全ての項目を確認・理解しましたので、がん遺伝子パネル検査を希望します。

ご担当先生 病院・部署

ご芳名